

旭市立琴田小学校 保健室
学校保健委員会号
令和7年12月10日
☆**うちのひと**と読みましょう☆
※^{うら}裏もあります

今回は、旭中央病院から看護師さんを講師としてお招き
して、「命の大切さについて考えよう」というテーマで、
6年生児童を対象に授業をしていただきました。



かんごし たいいけん まじ
看護師さんご自身の体験を交えながら、「1つ
いのち たいせつ ちか
しかない命だから大切にしてほしい」「近くに
たいせつ おも ひと つら
あなたを大切に思っている人がいる」「辛くなっ
たらまず相談をしてほしい」など、たくさんの
メッセージをいただきました。



ちやうしんき けつあつけい つか
聴診器や血圧計を使って、「トクントクン」
しんぞう こどう たいけん
という心臓の鼓動を体験しました



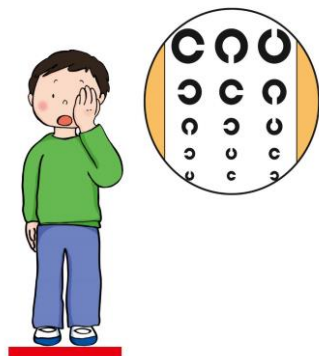
ひとりひとりが自分や周りの人の命の大切さや
尊さについて、考える時間になったのではない
かと思います。

もし、^お落ちこんでしまった^{とき}時には、^{じぶん}自分の^よ良いところをぜひ^{おも}思い^だ出してほしいです。だれにでもすてきなところがあります。

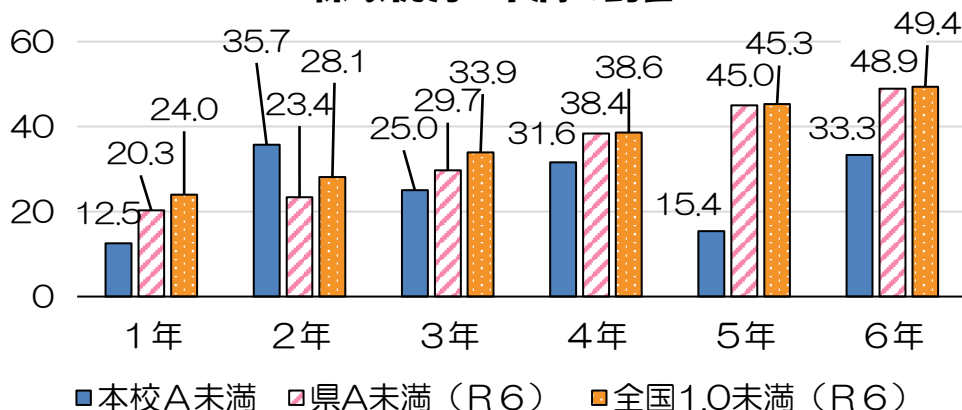


琴田っ子の健康について～健康診断の結果報告及び協議より一部抜粋～

【視力検査の結果】



裸眼視力A未満の割合

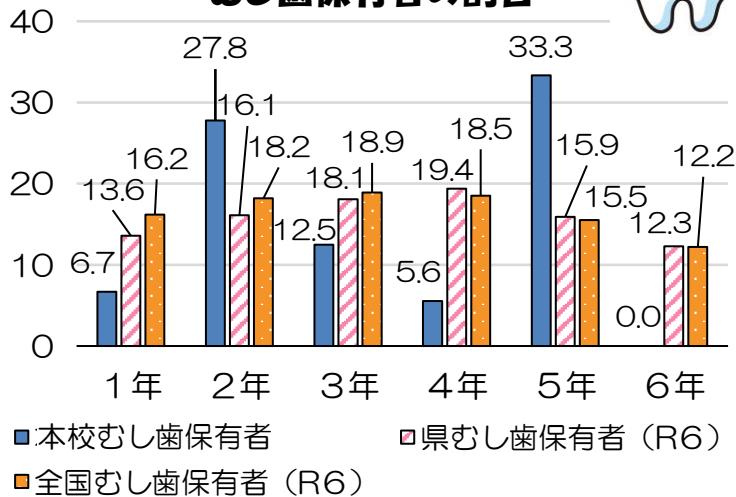


- 裸眼視力A未満（視力B～D）の児童は4年生が6名、次いで2年生が5名となっている。
- 2年生以外は、裸眼視力A未満の児童の割合は、全国・県よりも少ないが、4～6年生では他の学年と比べ、メガネ等使用者の人数が多い。
- 視力測定を4月に実施し、視力B以下の児童に眼科受診の勧めを配付し、11月21日時点で、79%が眼科受診を終えている。（昨年度同時期で71%）

【歯科検診の結果】



むし歯保有者の割合



- むし歯保有者は2・5年生が5名、次いで3年生が3名となっている。
- 所見として、歯肉の軽度炎症を指摘された児童が15名（前年度比+13名）と多い。
- 歯科検診後、所見の見られた児童には、歯科受診の勧めを配付した。
- 11月21日時点で79%が歯科受診を終えている。（昨年度同時期で64%）

眼科・歯科ともに昨年度同時期に比べて受診率が向上しております。保護者の皆様におかれましては、早期治療へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

【学校歯科医 菅谷 博 先生より琴田っ子の健康についてのご指導】

- ・歯が生え始めた時が一番むし歯になりやすい。この時期に、歯みがきをしっかりとすることが大切である。
- ・今年度の歯科検診の結果、歯肉の所見が多かった。第二性徴によるホルモンバランスの変化で歯肉に炎症が起こる。歯ブラシで刺激を加えることで、歯肉が引き締まってくる。

歯や歯肉の健康のために日常の歯みがきが大切であることを繰り返し仰っていました。学校では給食後の歯みがき指導を行っていますが、ご家庭でも朝夜や、休日の歯みがきの習慣化に向けて、引き続き、ご配慮いただけますよう、お願いいたします。